

# 検証・評価シート

## 北区計画 -平成23年度の取り組み状況-

将来像	<p><b>「人が集い 安心して暮らせる 魅力あふれる 緑といで湯のまち」</b></p> <p>人と人とのつながりを大切にし、農村地域とニュータウンなど都市部との地域連携・地域交流を促し、人・もの・情報が行き交い、暮らす人・訪れる人など多くの人が集うまちづくりを進めるとともに、広い区域、地形、まちの成り立ちなど、北区の地域特性を考慮したうえで、交通環境の向上など、日常生活における利便性・安全性を高め、子育て世代や高齢者などあらゆる世代が将来にわたって安心して暮らせるまちづくりを進める。</p> <p>また、北区に数多く残されている名所旧跡や伝統芸能などの歴史文化資源の保存・継承と活用を行い、魅力あふれるまちづくりを進めるとともに、豊かな自然に恵まれた緑のまちであり、環境マナー先進地である北区の美しい環境を、次世代のため守り育てていくほか、全国的に有名な湯のまち「有馬温泉」を、観光をはじめ健康づくりなど様々な分野に活用し、北区の活性化を図っていく。</p>	
	I. 地域力の向上	評価: 顕著な成果
目標達成状況	<p><b>【目標】</b></p> <p>(1) 地域内での地域力の向上                  (2) 地域間の連携による地域力の向上                  (3) 地域力の向上を支える体制づくり</p> <p><b>【主な取り組み状況】</b></p> <p><b>(1) 地域内での地域力の向上【顕著な成果】</b></p> <p><b>事業数=4 (顕著な成果=3、前進=1、現状維持=0)</b></p> <p>○自治会づくりの支援【顕著な成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連合自治会の設立に取り組む地域団体に対し、規約の作成方法等の助言を行うなど支援を行った。</li> <li>・新たに自治会が1団体、連合自治会が1団体結成された。</li> </ul> <p>○新任自治会長研修の開催【前進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新任自治会長を対象に行政機関の相談窓口や支援制度を紹介し、リーダーの育成を図った。</li> </ul> <p>○合併60周年支援事業(大沢・八多・道場)【顕著な成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市への合併60周年を機に、これまでのまちづくりの振り返りのための記念誌作成や、地域のコミュニケーション力向上のための講演会など、地域が行った事業を支援した。</li> </ul> <p>○地域主体の特徴的な活動【顕著な成果】</p> <p>助成制度等を活用し、地域団体等が主体となって地域活動の活性化に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花山地区での梅林づくり(花山梅林会)</li> <li>・交通問題・子育て支援活動等(八多コミュニティ活性化協議会)</li> <li>・神戸北町エリアでの認知症徘徊訓練(大原桂木OKサポート)</li> <li>・世代間交流の促進(ウイズユキたごよう)</li> <li>・藍那の里の魅力発信(あいな茶屋)</li> </ul> <p><b>(2) 地域間の連携による地域力の向上【顕著な成果】</b></p> <p><b>事業数=8(顕著な成果=6、前進=2、現状維持=0)</b></p> <p>○北区連合自治協議会情報交換会の開催【顕著な成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループディスカッションや外部講師による講演会を開催し、課題解決に向けた実践的な情報交換を行った。</li> </ul> <p>○ふれあいのまちづくり協議会情報交換会の開催【顕著な成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループディスカッションや他区の活動事例紹介を導入し、課題解決に向けた実践的な情報交換を行った。</li> </ul> <p>○地域間交流活動への支援【顕著な成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五町合同での広報誌「まちふれんず」の発行や「ソフトボール大会」を通じて、地域間交流を図った。</li> </ul> <p>○有野地区の交流支援【顕著な成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「ありの」の発行、ウォークラリーの開催を通して、地域の情報や魅力の共有と新旧住民の交流を図った。</li> <li>・地域主体での継続開催を促すことで、継続的な交流を促進していく必要がある。</li> </ul>	

○地域主体の特徴的な活動【顕著な成果】

- ・山田川を美しくする会が主体となり、河川流域の地域団体、事業者、学校等合同での大規模クリーン作戦を実施した。
- ・八多町自治協議会が主体となり、町民文化祭特別企画として、淡河町の「上野丘エイサー隊」など他地域の伝統芸能を招き、交流を図った。
- ・大原桂木OKサポートが主体となり、認知症徘徊SOS訓練を、周辺地域やあんしんすこやかセンターなど多くの関係団体の参画のもと実施した。

○他区・周辺市交流事業【前進】

- ・三木金物まつりステージイベントにおいて農村歌舞伎の上演および出展ブースでのパンフレット等配布を行い、多くの人に北区の魅力をPRした。

○神戸電鉄粟生線活性化協議会活動のPR【前進】

- ・インフィオラータや農村歌舞伎上演会などのイベントを通して、神戸電鉄粟生線活性化協議会活動のPRを行った。

**(3)地域力の向上を支える体制づくり【顕著な成果】**

**事業数＝14（顕著な成果＝7、前進＝6、現状維持＝1）**

○地域提案型活動助成【顕著な成果】

- ・地域が主体となって企画・提案・実施する地域活動を11件支援した。

○大沢町パートナーシップ協定の推進【前進】

- ・平成22年度にパートナーシップ協定を締結した大沢町において、おいしい大沢産農産物大作戦など具体的な行動計画を策定した。
- ・大沢町の総合窓口となる地域事務局の立上げ、新ブランド育成のための研究など、来年度以降具体的に取り組んでいく地域活性化事業の基礎づくりを支援した。

○北神区民センターの開設・活用【顕著な成果】

- ・ユースステーションやキッズコーナー等これまで北区に無かった施設を備えた区民センターとして、平成23年6月28日に供用を開始した。
- ・北神区民センターの開設にあわせ、「きたきたまつり」を開催したほか、「わくわくカーニバル北神」など様々なイベントで活用した。

○より便利で利用しやすい区役所づくり【前進】

- ・総合案内板やフロア案内図の見直しや、エレベーター・トイレなどの案内にピクトサインを効率的に配置するなど改善した。
- ・各種研修や若手職員を中心としたワーキンググループなどを実施し、市民対応に必要な知識や技術の習得に努めた。

**【総評】**

新たな自治会が結成されたほか、地域間交流や活性化事業などに、地域主体で取り組んだ。また、地域提案型活動助成によって新たな地域活動を支援したほか、新たに開設した北神区民センターを活用するなど、地域活動の活性化を図った。

平成24年度は、引き続き、地域間の連携・交流事業への支援や、より便利で利用しやすい区役所づくりなど行政サービスの充実などに取り組んでいく。

## 【目標】

- (1) 自然や歴史とのふれあい
- (2) 「農」の活用
- (3) 観光資源の活用
- (4) 情報の発信

## 【主な取り組み状況】

**(1) 自然や歴史とのふれあい【顕著な成果】**

**事業数=4(顕著な成果=4、前進=0、現状維持=0)**

## ○農村歌舞伎上演会の開催【顕著な成果】

- ・小河農村歌舞伎上演会を通じて、伝統芸能である農村歌舞伎および文化財である農村歌舞伎舞台を区民に広くPRした。
- ・老朽化が進んでいる小河の舞台を、今後継続して安全に上演ができるよう補修した。
- ・箱登羅たから歌舞伎が新たな出演団体として参画した。
- ・体験教室受講生が少なく、受講生単独での演目の上演ができなかった。

## ○どろんこバレーボール神戸大会への支援【顕著な成果】

- ・不耕作地を活用し、第13回どろんこバレーボール神戸大会を平成23年7月31日に開催した。
- ・神戸市だけでなく滋賀県や大阪府など関西一円から約1,000人の参加者があった。
- ・会場での農産物販売等を検討し、イベントを効果的に活用する必要がある。

## ○地域主体の特徴的な活動【顕著な成果】

大河ドラマ「平清盛」放映にあわせて、地域の歴史資源を活用したイベント等を開催した。

- ・「清盛」放送記念ウォーキング「丹生山田郷」の史跡を訪ねて(山田校下自治振興会)
- ・「平清盛」ゆかりの地をめぐる ありのウォークラリー(有野地区自治連絡協議会)
- ・平清盛ゆかりの地丹生山田の里の学習、散策(大原・桂木ふれあいのまちづくり協議会)
- ・歴史講演会「鷲尾義久と福田寺」・史跡見学会(山田民俗文化保存会)
- ・源平ウォーキング(西鈴まちおこし連合会)
- ・おおぞうふれあいエコハイキング(大沢町)

## ○茅葺きを中心としたまち・こころづくり【顕著な成果】

<茅葺き屋根とふれあう月間2011の開催>

- ・陶芸教室(淡河町)やクラシックコンサート(鈴蘭台)など、茅葺き民家を活用したイベントを1ヶ月間集中的に開催し、区民に茅葺きの魅力を発信した。

<茅葺きを活用した地域イベントの支援>

- ・淡河町や八多町の茅刈りイベント等へ職人派遣などの支援を行った。

**(2) 「農」の活用【顕著な成果】**

**事業数=10(顕著な成果=6、前進=4、現状維持=0)**

## ○農業体験イベント

北区の身近な自然に触れるとともに、イベントを通して都市部と農村の交流を図る取り組みを行った。

- ・おやこメづくり道場(山田町藍那)【顕著な成果】
- ・大沢ふれあいコメづくり広場(大沢町)【顕著な成果】
- ・淡河農都ふれあい隊(淡河町)【顕著な成果】

## ○農の情報発信【前進】

広報紙の一面で「神戸ビーフ」「神戸ワイン」「道の駅淡河」「いちご農園」など、北区の農産物や観光農園・直売所などの特集を掲載し、広く情報発信した。

## ○地域主体の特徴的な活動【顕著な成果】

- ・藍那の里の魅力発信 食育イベント活動(あいな茶屋)
- ・小学校農業体験教室(JA神戸北女性会)

## ○北区特産品を紹介するイベント【前進】

北区の特産品の紹介や、販売の機会の提供を行うイベントを開催した。24年度以降は、単なるPR・交流事業でなく、生産拡大など農業振興につながる事業として実施する必要がある。

- ・食と農の祭典(イオンモール)
- ・淡河農都ふれあい隊(淡河町)
- ・花の学校(山田町)
- ・ふるさと一誇事業(上大沢・二郎)

## ○大沢町パートナーシップ協定の推進【前進】

パートナーシップ協定を締結した大沢町において、農産物のブランド化による生産拡大と農業収入の増加・安定化を目指し、「生き物ブランド米」の研究、イチゴ品種「神戸1号」の復活など、ブランド化に向けて取り組んだ。

## ○特定外来生物および有害鳥獣対策【前進】

・防除計画に基づく対策として、「猟友会への捕獲の委託」「猟具の購入、箱わなの貸出」「注意や啓発資材の配布」等を行った。

・捕獲が繁殖に追いついておらず、効率的かつ重点的な対策が必要である。

**(3)観光資源の活用【前進】**

**事業数=4(顕著な成果=2、前進=2、現状維持=0)**

## ○有馬太閤ひょうたんまつり支援事業【前進】

・第11回有馬太閤ひょうたんまつりを平成23年7月12日から開催し、1,358人が来場した。  
・地域住民や地元小学生のひょうたんまつりへの参加を促すため、ひょうたん栽培加工教室を開催した。  
・ひょうたんまつりへの一般・小学生の出席を更に増加させる工夫が必要である。

## ○有馬川サクラの再生事業【顕著な成果】

・太閤橋以北のサクラの治療と、病状の進行した有馬山口線沿いのサクラの調査および当面の応急作業を行った。

## ○地域主体の特徴的な活動【顕著な成果】

地域団体等が主体となって、観光資源の活用やPR、周辺地域との連携を深める活動に取り組んだ。

<有馬温泉観光協会の取り組み>

・有馬温泉まちづくり基本計画策定委員会の設立  
・近隣との連携(大沢町・アウトレット・六甲山牧場・岡本商店街、西宮えべっさん)

<フルーツ・フラワー・パークの取り組み>

・神戸イルミネージュ2011

**(4)情報の発信【顕著な成果】**

**事業数=9(顕著な成果=5、前進=3、現状維持=1)**

## ○北区歴史講演会の開催【顕著な成果】

・大河ドラマ「平清盛」放映に合わせ、清盛をテーマとした講演・講談を平成24年2月19日に開催した。  
・定員490名に対して申込が460名と非常に多く、テーマ設定や広報に成果があった。

・区民にあまり知られていない北区の歴史的魅力を更にPRするため、テーマの工夫を継続する必要がある。

## ○きたきたまつりの開催【顕著な成果】

・平成23年6月18日に北神区民センター開設記念行事として開催し、ステージイベントへの農村歌舞伎の出演や、芸術作品展の開催など新たな取り組みを行った。

・区民間の交流の更なる促進のため、出演団体・協賛団体の拡大を図っていく必要がある。

## ○菊づくりの推進【顕著な成果】

・菊づくり講習会(全3回)の参加者延べ人数が、21年度64名、22年度78名に対し、23年度は84名と参加者が増加した。

・区民が育てた菊の展示場所を、区役所玄関や連絡所に加え、今年度は新たに北神区民センターにも設置した。

・新たな取り組みとして、菊の展示場所や区役所窓口に山田菊の紹介看板を設置し、PRを行った。

## ○北区の魅力発見キーワードラリー【顕著な成果】

・区内の農村地域を訪れる人を増やし生産物を購入してもらうため、区内の農産物直売所及び観光スポットを紹介するガイドブックを作成・配布し、地域の活性化を図った。

## ○広報サポーター制度【前進】

・一般公募により選ばれた広報サポーターの記事を広報紙やHPに掲載し、親しみのある情報や北区の魅力を分かりやすく発信した。

・隠れスポット等区民の知らない魅力を伝える記事を増やしていく必要がある。

**【総評】**

農村歌舞伎上演会や農業体験イベント、農産物のブランド化に向けた取り組みなど、自然や歴史、農、観光資源など北区の魅力を活用した取り組みを進めた。また、北区の魅力を紹介するキーワードラリーを取り入れたガイドブックを新たに作成するなど情報の発信を進めた。

平成24年度は、引き続き自然や歴史とのふれあいなどに取り組むとともに、観光資源の活用のため、さらに周辺地域との連携や農業との連携などを進めていくほか、ホームページの充実などにより情報発信の強化を図っていく。

【目標】

- (1) 便利なまちの推進
- (2) 安全なまちの推進

【主な取り組み状況】

**(1) 便利なまちの推進【前進】**

**事業数=5(顕著な成果=2、前進=2、現状維持=1)**

○路線バス運行維持【現状維持】

バス路線の維持に取り組んでいる大沢町や八多町において、事業者との調整などの支援を行った。

- ・運行継続に向けた連絡会議の開催(延13回)
- ・地域によるバス利用促進キャンペーンの実施
- ・自主運行バスの検討支援

○淡河町ゾーンバス【顕著な成果】

・利用者数が月平均568人と町内の移動手段として定着し、継続的・安定的運行が図られた。

○神戸電鉄粟生線活性化協議会活動のPR等【前進】

・インフィオラータや農村歌舞伎上演会などのイベントを通じて、神戸電鉄粟生線活性化協議会活動のPRを行った。

○空き家の利活用【前進】

・大沢町において、移住希望者の受入れに活用するため、空き家調査を実施した。  
(居住状況、家屋状態、所有者管理者の賃貸・売買意向確認 等)

○地域主体の特徴的な活動【顕著な成果】

・大沢町において、町内に住む若い家族を増やすために「大沢出会いの場」「出会いの鍋」を開催した。  
・淡河町において、移住を考えている人が、淡河での生活を事前にイメージできるガイドブック「淡河町田舎暮らしの便利帳」を作成した。

**(2) 安全なまちの推進【顕著な成果】**

**事業数=17(顕著な成果=14、前進=2、現状維持=1)**

○鈴蘭台駅周辺のまちづくり【顕著な成果】

・都市計画、事業協力者が決定し、今後は共同化ビルや駅前広場などの基本設計を進めていく。  
・地域住民説明会やニュースの全戸配布、区役所窓口配布など、地域への周知を図った。

○大池駅周辺【顕著な成果】

・大池駅前地区において、幹線道路及び区画道路等の整備を促進した。

○西鈴蘭台駅前広場再整備の検討【顕著な成果】

・駅前広場をバリアフリーに配慮された安全で便利なものに改修するため、地域の総意づくりを行った。

○市民防災総合センターの活用【前進】

・区民や区内事業者向けに、火災体験、地震体験、消火器具使用訓練など、センターを活用した研修を2回実施した。

○北区民暴力団追放大会の開催【顕著な成果】

・北神区民センターありまホールで、平成24年2月7日(火)に北区民暴力団追放大会を開催し、大会宣言のほか、センターから岡場駅まで街頭啓発パレードを実施した。

○北区総合防災訓練の実施【顕著な成果】

・平成23年11月12日(土)にひよどり台地区において、地域主体の「実地訓練」と、区役所の「本部設置訓練」を初めて同時に実施し、より災害時に近い訓練を行うことで、災害時における地域と行政機関の連携、ネットワークの充実を図った。

【総評】

北神地域において、路線バスの維持や自主運行バスの実現について検討を進めるとともに、農村地域での新規就農者の受け入れに活用するための空き家調査を行った。また、鈴蘭台駅前の整備や、暴力団追放大会の継続開催など、安全・安心なまちづくりを推進した。

平成24年度は、路線バスの維持や自主運行バスの実現に向けて、地域との協働による地域課題解決支援事業を創設し、具体的な取り組みを進めていく。

## 【目標】

- (1) 子どもを育てる
- (2) 青少年を育てる

## 【主な取り組み状況】

**(1) 子どもを育てる【顕著な成果】**

**事業数=13(顕著な成果=7、前進=6、現状維持=0)**

○世代間交流イベントの開催(本区:きてきてカーニバル、北神:わくわくカーニバル)【顕著な成果】

- ・すずらんホールで実施してきた「きてきてカーニバル」に加え、北神区民センターで「わくわくカーニバル」を新たに実施した。
- ・イベントの検討から当日の開催まで、様々な関係者が集まり、地域全体で子育てを応援する意識の向上を図ることができた。(親子・高齢者・民生委員児童委員・主任児童委員、子育てサークル、大学生、ボランティア等が参画)

○プレパパママ教室の開催【前進】

- ・本区と北神でそれぞれ4回ずつ計8回開催し、新しく親になる人達(延べ189人)に妊娠中・出産後の生活の疑似体験をしてもらい、子育て不安の解消を図った。

○子育て支援マップの作成【前進】

- ・地域の子育て支援情報として、移動図書館、シルバー人材センター、ファミリーサポート等の子育て支援関係機関を新たに追加したマップを作成し、より充実した子育て支援情報を発信した。

○子育て応援講座の開催(「子育て応援」講演会の開催)【顕著な成果】

- ・子育て中の母親や子育てサークルの代表者を対象に、すぐに実践できる内容の講演会を開催し、85人の参加があった。
- ・講演会とあわせ、参加者同士の交流会を実施した。

○中高生と乳幼児の触れ合い体験【顕著な成果】

- ・ユースステーション北神において、小中高生を対象に乳幼児とのふれあい方を学ぶ講座を開催し、18人の参加があった。
- ・講座で学んだ内容を踏まえて、実際に乳幼児と触れ合う交流会を6回開催し、小中高生に家族への感謝、親になることの意味、責任について考えてもらう機会をつくった。

**(2) 青少年を育てる【顕著な成果】**

**事業数=3(顕著な成果=2、前進=1、現状維持=0)**

○青少年育成協議会支部長会の開催【前進】

- ・支部長会を3回開催し、他地域の参考になる取り組み事例の紹介や、新たな制度であるイエローフラッグに関する情報交換、メディアリテラシーに関する勉強会などを行った。
- ・イエローフラッグを新規に4団体が導入したほか、新たにメディア学習リーダーが3人選出されるなど、活動の充実が図られた。

○青少年フェスタの開催【顕著な成果】

- ・中高生を中心とした青少年フェスタ実行委員会を立ち上げ、第1回青少年フェスタを平成24年3月3日に開催した。
- ・青少年自らが企画運営することで、年代や学校を超えた仲間づくりや、地域との交流を図った。

## 【総評】

「わくわくカーニバル北神」や「中高生と乳幼児の触れ合い体験」など、北神区民センター、ユースステーションの開設に合わせ様々な新規事業を実施し、子育て支援の取り組みを充実させた。また、青少年フェスタでは、青少年の自主的な活動を通じて、年代や学校を超えた仲間づくりや、地域との交流を図ることができた。

平成24年度は、引き続き世代間交流による子育て支援や子育て環境の整備、青少年育成活動の充実などに取り組んでいく。

## 【目標】

- (1) 健康づくりの推進
- (2) 高齢・障がい福祉の充実

## 【主な取り組み状況】

**【(1)健康づくりの推進【顕著な成果】】**

**事業数=5(顕著な成果=4、前進=1、現状維持=0)**

## ○こうべ健康ウォークの開催【前進】

- ・歩き方教室や健康チェック等を取り入れ、地域の歴史資源を巡るウォーキングを開催し、区民の健康づくりのきっかけの場を提供した。
- ・北区は多くのハイキング・ウォーキングコースに恵まれていることから、今後、神戸電鉄主催のハイキングとも連携を図っていく。

## ○各種スポーツ大会の開催【顕著な成果】

- ・新たに開催した第1回ふれあい綱引き大会のほか、ロードレースや各種区長杯大会等のスポーツ大会を開催し、多くの区民の参加を得た。

## ○機能回復訓練を契機とした高齢者居場所づくり支援事業【顕著な成果】

- ・徒歩圏内に地域福祉センターがない地域の集会所などで、健康づくりリーダーが自主的に行う健康体操の支援を行い、高齢者が互いに見守り合い、地域内で孤立化防止をはかる見守り体制の構築を図った。
- ・平成24年1月24日に、生野自治会館において、「健康づくりふれあいサロン和(なごみ)」を開始した。

## ○地域主体の特徴的な活動【顕著な成果】

- ・有馬温泉で毎月第3火曜日にノルディックウォーク定例会を開催し、自然に癒されながら、運動と温泉の健康づくりに取り組んだ。(有馬温泉観光協会)
- ・有馬の自然に触れながら健康スポーツを体験できる講座などを開催した。(有馬温泉ゆけむり大学)

**【(2)高齢・障がい福祉の充実【顕著な成果】】**

**事業数=11(顕著な成果=7、前進=2、現状維持=2)**

## ○障害者地域自立支援事業

障がいのある人が地域で安心して生活できる社会環境を整えるため、北区自立支援協議会等と連携を図りながら、講演会等を開催し、区民の障がい者に対する理解を深め、交流を促進した。

- ・ふれあい講演会の開催【前進】
- ・ふれあいフェスタの開催【顕著な成果】
- ・研修・セミナーの実施【現状維持】

## ○農でデザインする福祉のまちづくりプロジェクト【現状維持】

- ・農家や地域の支援のもと、障害福祉施設等が休耕田を活用し、農業による障害者の就労支援事業を推進した。
- ・事業の参加施設が生産した農産物の包装、販売時の「のぼり」、各種PRに使用する「ロゴマーク」を決定したほか、生産・加工・販売・訓練にかかる今後の将来図をまとめた。

## ○有野台プロジェクト 高齢者等相談ルームの「なでしこ暮楽部」の開設【顕著な成果】

- ・有野台のUR団地に高齢者等相談ルーム「なでしこ暮楽部」を平成23年4月1日に開設し、各種相談(介護・福祉)の対応やあんしんすこやかセンター等関係機関との連携を図るとともに、地域と連携し、高齢者の居場所づくり事業を実施した。
- ・なでしこ暮楽部によるUR全戸訪問を実施したほか、高齢者同士の見守りサークル隊が自主的に結成された。

## ○絆サポーターによる高齢者への目配り事業【顕著な成果】

- ・「なでしこ暮楽部」の開設を契機とした、地域全体で高齢者を見守ろうとする住民の機運を捉え、地域住民を主体とした絆サポーターによる高齢者目配り活動を有野台地区をモデル地域として開始した。
- ・多くの住民から情報が集まりやすい地域団体の役員等が、絆サポーターとなり、日常生活の中で高齢者の異変等をつかみ、専門機関による相談や見守り活動など適切な支援につなげていく。
- ・平成24年2月27日の発足式において、41人の絆サポーターが誕生した。

## 【総評】

新たに開催したふれあい綱引き大会をはじめ各種スポーツ大会を開催した。また、新たな取り組みとして、健康づくりリーダーが地域の集会所などで高齢者の健康体操を支援する「機能回復訓練を契機とした高齢者居場所づくり支援事業」を実施した。さらに、有野台地区で「絆サポーター」による高齢者への目配り事業を開始するなど、地域住民主体の地域福祉活動を推進した。

平成24年度は、引き続き各種スポーツ大会や地域福祉活動への支援を行うとともに、機能回復訓練を契機とした高齢者居場所づくり支援事業や、絆サポーターによる高齢者への目配り事業の拡大・充実を図っていく。



## 【目標】

- (1) 美しいまちづくり
- (2) 豊かな自然を守り育てる
- (3) マナー・モラルの向上

## 【主な取り組み状況】

**【(1) 美しいまちづくり【顕著な成果】】**

**事業数=9(顕著な成果=9、前進=0、現状維持=0)**

## ○クリーン作戦の更なる推進

ばい捨て防止重点区域に指定されている地域でのクリーンキャンペーンや、地域団体が美緑花区民の会として合同で実施するクリーン作戦などを支援した。

## ・ばい捨て防止重点地域におけるクリーンキャンペーン 【顕著な成果】

鈴蘭台駅周辺: 2回

有馬: 1回

## ・美緑花区民の会のクリーン作戦

西鈴蘭台駅周辺: 3回 【顕著な成果】

鈴蘭台西口駅周辺: 10回 【顕著な成果】

岡場・田尾寺駅周辺: 6回 【顕著な成果】

## ・美緑化重点スポット美化活動助成 【顕著な成果】

82団体

## ○クリサンセマムストリート事業 【顕著な成果】

北区連合婦人会が主体となり、北区の玄関口である鈴蘭台駅から区役所までを花壇で飾る「クリサンセマムストリート」を実施し、区民が花や緑にふれあう機会を提供した。

## ・季節に合わせた花の植え替え、飾りつけ6回

## ・勉強会による技術支援1回

## ○インフィオラータこうべ北区 【顕著な成果】

・広場などを花びらなどによる絵模様で美しく彩るイベントを北区内2箇所で開催し、鈴蘭台駅前では約900人、北神戸田園スポーツ公園では約3,000人の来場があった。

**【(2) 豊かな自然を守り育てる【顕著な成果】】**

**事業数=10(顕著な成果=6、前進=4、現状維持=0)**

## ○環境フォーラムの開催 【顕著な成果】

・フォーラムに先立ち、北区連合婦人会がごみの排出量を意識して生活する「減装生活」を実施した。

・産学官民の共催でフォーラムを開催し、ごみの発生抑制に関する講演と、減装生活によるごみに対する意識変化の報告を行い、各家庭でのごみ減量の啓発を行った。

## ○「美しいまちを守り、ごみの減量、資源化を推し進める協定」の締結 【前進】

・新たに大沢町自治連合会、淡河町自治協議会の2団体と協定を締結した。

## ○老人クラブ3R研修会の開催 【顕著な成果】

・老人クラブ会員を対象としたごみ問題に関する学習会・環境施設の見学会を17団体を対象に実施し、ごみ問題への関心を高め、更なる分別マナーの向上及びごみの減量・資源化を図った。

## ○山田川クリーン作戦事業 【顕著な成果】

・北区の大池地区から衝原湖まで総延長約13kmの河川流域と、その周辺の住宅地域を、住民(40団体約7,000人)が一斉に清掃するクリーン作戦を実施した。

・新たにのぼりを作成し、クリーン作戦中に美化啓発を行った。

## ○不法投棄対策 【前進】

・悪質な不法投棄のあるステーションにおいて、地域・警察・環境局北事業所の協働により監視等を行った結果、投機者の特定に至った。

## ○KEMSの取り組み 【前進】

・区役所では電気使用量やガス使用量の削減など、設定した目標について概ね達成した。また、緑のカーテン事業にも新たに取り組んだ。

・北区内でKEMSを取得している事業者等の数が、平成23年度には新たに10団体増え合計で88団体となった。

**(3)マナー・モラルの向上【前進】**

**事業数=4(顕著な成果=1、前進=2、現状維持=1)**

○環境ポスター展 **【顕著な成果】**

・青少年の作成した環境ポスターの展示を通じて、青少年の美化意識の高揚と、区民への美化啓発を行った。(展示場所:鈴蘭台駅周辺、すずらんホール、イオンモール、神戸電鉄中吊りポスター)

○ドライバーばい捨て対策事業 **【現状維持】**

・八多町において、ばい捨て禁止の啓発やドライバーの意識向上を図るため、ビラ配り等のキャンペーンを行った。

・実施時期が年度末となり、PRなども十分ではなかった。

○ペットのしつけやマナーアップ教室の開催 **【前進】**

・飼い犬のしつけ方教室を7回開催し、57頭の犬とその飼い主が参加した。

・犬や猫などの飼い主に対するマナー啓発看板を延べ約300人に配布した。

**【総評】**

各種クリーン作戦など、地域団体が主体となりまちの美化・啓発に取り組んだ。また、環境フォーラムを開催したほか、「美しいまちを守り、ごみの減量、資源化を推し進める協定」の締結団体が増加するなど、区民・事業者・行政が協働し、北区全体でごみの減量・資源化に取り組んだ。

平成24年度は、引き続きクリーン作戦のさらなる推進やごみの減量・資源化などに取り組むとともに、ごみ出しルールの違反や不法投棄に対し、地域と行政の協働による地域課題解決支援事業を創設し、具体的な取り組みを進めていく。

目標達成状況

まちづくり指標の状況	指標項目	策定値	23年度評価 数値	ともに目指そう値
	新たに「地域提案型活動助成」で採択された活動のうち、継続している活動数を平成27年度までに15団体増やす。	45件	新たに10件	新たに15件
自治会の新規結成数もしくは連合自治協議会の加入数を平成27年度までに5団体増やす。	(単位自治会数) 377団体 (連合自治協議会加入数) 238団体	新たに2団体	新たに5団体	
茅葺き民家を活用したイベントの開催数を平成27年には10回/年開催する。	6回/年	9回/年	10回/年	
区内で受講した市民救命士資格取得者数を平成27年度までに12,000人増やす。	18,053人	新たに3,848人	新たに12,000人	
北区民暴力団追放大会を毎年継続して開催する。	1回/年	1回/年	1回/年 継続開催	
世代間交流事業を平成27年度には30回/年開催する。	18回/年	28回/年	30回/年	
健康づくりリーダーの養成者数を平成27年度までに100人増やす。	400人 (平成22年度)	436人	500人	
「美しいまちを守り、ごみの減量、資源化を推し進める協定」を平成27年度には30団体と締結する。	17団体 (平成22年9月)	19団体	30団体	
地域資源集団回収量(年間1世帯あたり)を平成27年度には165kgに増やす。	135kg	133kg (平成22年度)	165kg	